

1 鈴鹿郡の定義について

本書において「鈴鹿郡」とは、1935年（昭和10年）当時の郡域をいう。

※ 鈴鹿郡は、現在、三重県亀山市、鈴鹿市、四日市市等の一部となっている。

2 調査について

(1) 調査目的及び内容

地域において昔から使われてきた固有の呼び名（又は、呼び方）等を明らかにし、記録として残すことを主たる目的とする。

- ① 鳥類計 32 種 33 項目に係る鈴鹿郡の集落での昔の呼び名及び生息状況（別紙1 調査票 参照）
 - ・ 調査対象は、生息状況、呼び名の状況、写真判別の容易さ等を考慮し選定
- ② 各集落における鳥類の聞きなしや鳥類にまつわる事項等

(2) 調査期間

2004年1月から2014年5月

(3) 調査対象年代

1935年（昭和10年）前後（以下「当時」という。）

(4) 調査対象集落（別紙2 調査集落 参照）

郡内において当時以前からある69集落（当時の旧制町村単位で区分し、隣接する集落は併せた場合がある。）とともに、隣接する15集落を含め調査対象とした。

鈴鹿郡

加太村(3)、坂下村(3)、関町(3)、白川村(4)、神辺村(6)、亀山町(9)、昼生村(3)、井田川村(5)、国府村(4)、牧田村(2)、庄野村(2)、高津瀬村(3)、石薬師村(3)、川崎村(3)、野登村(3)、庄内村(2)、深伊沢村(3)、椿村(5)、久間田村(3)

隣接地域

河芸郡 明村(5)、高野尾村(1)、合川村(1)、天名村(1)、河曲村(1)

四日市市・三重郡 塩浜磯津(1)、小山田村(1)、水沢村(1)

甲賀郡 山内村(2)

阿山郡 東拓植村(1)

※ 当時の旧制町村により区分、()は調査集落数

(5) 調査対象者及び被聴き取り者数

- ① 調査対象者は、当該集落で生まれ育ちの80歳代を中心とした高齢者
- ② 被聴き取り者数は、合計約360名（隣接地域を含む。）

(6) 調査方法

- ① 調査対象鳥類のカラー写真提示の上での対面聴き取り調査
写真提示に加え、必要に応じ形態、鳴き声等の特徴を口頭で補足説明を行い、聴き取りを実施
- ② 1集落複数名からの聴き取り
聴取内容の正確性を高めるため、各集落複数名から聴き取りを実施
- ③ 2段階での調査
 - ・ 第一次調査 複数名から聴き取りを行い、すべての集落を調査
 - ・ 第二次調査 第一次調査終了後、集落間における呼び名の分布の不整合等について各集落1～2名から再聴き取りを実施（聞きなしは二次調査で聴き取り）

④ その他

地域由来でない標準和名や一般的な和名等が学校教育等により当時既に一般化していた、又は一般化しつつあったと考えられた場合は、被聴き取り者の祖父母等の世代が使用した言葉についても聴き取りを実施

別紙1 調査票 (A4版) 及び記入上の説明

地区番号、【 】は調査票一連番号

鳥類の地方名に関する調査票(鈴鹿郡)

調査年月日	調査集落名 (旧町村名)	調査番号
	()	【 】

聴き取り日 (期間)		生息	集落での呼び名	備考
分類	鳥類の名称			
スズメ目	スズメ科		すずめ	
	ツバメ科		つばめ	
	セキレイ科		せぐるせきらい	
	ウグイス科		うぐいす	
	モズ科		もず	
	ヒバリ科		ひばり	
	メジロ科		めじろ	
	ヒヨドリ科		ひよどり	
	ムクドリ科		むくどり	
	ホオジロ科		ほおじろ	
	〃		あおじ	
	ヒタキ科		じょうひたき	
	〃		つぐみ	
	〃		おおり	
	カワガラス科		かわがらす	
	ガラス科		からす	
	〃		かけす	
キジ目			きじ	
カモ目			まがも	
カイツブリ目			かいつぶり	
ハト目			きじばと	
ペリカン目			こさぎ (白色類)	
			あおさぎ	
カッコウ目			かっこう	
			ほどとぎす	
タカ目			とび	
			さしば (中小型類)	
フクロウ目			ふくろう	
			このはずく	
			あおはずく	
ブッポウソウ目			かわせみ	
キツツキ目			こげら	
雛鳥 (孵化直後) 等		—	つばめ・すずめ等	不飛:
その他		—	不明種	飛べない鳥

調査集落名、()内は調査対象年代当時の旧制町村名

聞きなし等

・ヒヨ (ドリ) = 「ヒヨ」、「ヒヨドリ」を意味する。
 ・呼び名の使用状況に注意が必要と考えられた呼び名については、語尾にその状況を示す (主) や (少) を付記したことがある。その他、幼児向けの呼び名は (幼)、群れでの呼び名は (群)、藪中での呼び名は (藪)、営巣・巣立ち回数順の呼び名は①②、巣立ち遅れは (遅)、雄雌での区別は (雄) 等と付記したことがある。

○ = しばしば見かけられた。
 △ = 少なかった。稀。
 - = いなかった。わからない。

聞きなし、諺・表現等、捕獲、昔の鳥類にまつわる事項等

・「こぼち (竹の簾、稲穂、穴)」等: 主にホオジロを捕獲するための罠で、地面に直径 15cm 程度の小さな穴を掘り、その上に細い (割り) 竹を編んだ簾 (30cm 四方程度) 等を 2 か所で小枝等の二股で立てかけ、中央に稲穂を吊るし、鳥がそれをつけば、簾が倒れ、穴と簾の間に閉じ込められるという仕掛け。
 ・「こぼち (ザル、糲、紐)」等: 主にスズメを捕獲するための罠で、ザル等を紐をつけた小枝等で立てかけ、その下に糲等を撒き、離れた所から見ていて、鳥がそこに来たら紐を引き、落ちたザル等の下に閉じ込められるという仕掛け。

回答者氏名 (生年)	回答者氏名 (生年)	回答者氏名 (生年)	回答者氏名 (生年)	回答者氏名 (生年)
	順不同			

別紙2 調査集落（1935年（昭和10年）当時の旧制町村別）

○ 鈴鹿郡

旧制 町村名	町村 番号	調査集落 <○番号は集落番号>
加太村	1	①亀山市上加太、②下加太、③関町越川
坂下村	2	①亀山市関町坂下、②関町杵掛、③関町市瀬
関町	3	①亀山市関町久我、②関町古厩、③関町中心街
白川村	4	①亀山市関町鷺山、②関町白木一色、③白木町、④小川町
神辺村	5	①亀山市関町会下、②小野町・関町小野、③木下町、④山下町、⑤太岡寺町、⑥布気町
亀山町	6	①亀山市住山町、②羽若町・亀田町、③椿世町、④野村・南野町、⑤亀山市中心街、⑥和賀町・天神、⑦阿野田町、⑧菅内町・樺野、⑨安知本町・田茂町
昼生村	7	①亀山市三寺町、②中庄町、③下庄町
井田川村	8	①亀山市井尻町・小下町、②和田町・川合町、③亀山市井田川町・鈴鹿市小田町、④鈴鹿市和泉町、⑤西富田町・中富田町
国府村	9	①鈴鹿市八野町、②国府町、③住吉（国府新田）、④平野町
牧田村	10	①鈴鹿市平田・弓削・岡田、②甲斐町
庄野村	11	①鈴鹿市汲川原町、②庄野町
高津瀬村	12	①鈴鹿市広瀬町、②津賀町、③高塚町・加佐登
石薬師村	13	①鈴鹿市上田町、②上野町、③石薬師町
川崎村	14	①亀山市田村町・長明寺町、②川崎町、③太森町
野登村	15	①亀山市辺法寺町、②両尾町、③安坂山町
庄内村	16	①鈴鹿市東庄内町、②西庄内町
深伊沢村	17	①鈴鹿市深溝町、②伊船町（伊船野田・伊船新田）、③伊船町・長沢町
椿村	18	①鈴鹿市小岐須町、②小社町、③山本町、④大久保町、⑤四日市市水沢野田町
久間田村	19	①鈴鹿市岸田町・四日市市和無田町 ②四日市市鹿間町・鈴鹿市下大久保町、③四日市市南小松町
計		19 町村 69 集落

○ 隣接地域

区分（郡）	旧制 町村名	郡市 区分	調査集落 <○番号は集落番号>
河芸郡	明村	河	①亀山市関町福德、②関町萩原、③津市芸濃町楠原、④芸濃町林（川原）、⑤亀山市楠平尾町
〃	高野尾村	河	⑥津市高野尾町
〃	合川村	河	⑦鈴鹿市三宅町
〃	天名村	河	⑧鈴鹿市御薮町
〃	河曲村	河	⑨鈴鹿市木田町
四日市市	一	四	①四日市市塩浜磯津
三重郡	小山田村	三	①四日市市山田町
〃	水沢村	三	②四日市市水沢町
甲賀郡	山内村	甲	①甲賀市土山町山女原、②土山町山中
阿山郡	東柘植村	阿	①伊賀市柘植町
計			10 市村 15 集落

別紙3 第二次調査の主な視点及び調査票記入上の整理事項

① 第二次調査の主な視点

分類	鳥類の名称	第二次調査の主な視点（「 」は呼び名）
スズメ目	すずめ	幼児向け、群れた状態、藪中の呼び名等
	つばめ	営巣・巣立ちに関する呼び名の分布、聞きなし
	せぐろせきれい	「オツキサンノミズクミ」、「オフリ」等の分布
	うぐいす	幼児向けの呼び名、聞きなし
	もず	「キチキチモーズ」、「モーズ」の分布、聞きなし
	ひばり	聞きなし
	めじろ、ひよどり、むくどり	—
	ほおじろ	「チンチロ」の分布、聞きなし
	あおじ	「アオンチョ」等の有無
	じょうびたき	「モンツキ」の分布
	つぐみ	—
	おおるり	「ルリ」の有無
	かわがらす	生息状況
	からす	幼児向け、群れた状態、「ヤマガラス」等の有無
	かけす	「カシドリ」等の有無
	キジ目	きじ
カモ目	まがも	「アオクビ」の有無
カイツブリ目	かいつぶり	—
ハト目	きじばと	「クックードリ」の分布
ペリカン目	こさぎ（白色類）	—
	あおさぎ	ゴイサギとの呼び名の違い。「クロサギ」等の有無
カッコウ目	かっこう	「カッコドリ」、「カンコドリ」の有無、生息分布
	ほととぎす	聞きなし
タカ目	とび	聞きなし
	さしば（中小型類）	「マグソダカ」等の分布
フクロウ目	ふくろう	「コロスケ」、「ホロスケ」の有無、生息状況、聞きなし
	このはずく	「ブッポーソー」といった鳴き声の有無
	あおはずく	「ホーホードリ」、「ホイホイドリ」の有無
ブッポウソウ目	かわせみ	「キスイ」、「ヒスイ」、「カワラセミ」等の分布
キツツキ目	こげら	「モンタタキ」、「モンツツキ」の分布
雛鳥（孵化直後）等	つばめ・すずめ等	飛べない（発育不良の）状態の呼び名
その他	不明種	不明種の鳥類の呼び名、聞きなしの有無

② 調査票記入上の整理事項

ア 山林に生息する鳥類をはじめ、いくつかの鳥類の被聴き取り者の回答内容は、実物を実際に見ることなく、鳴き声としての認識や家族・近隣住民から聞いた呼び名等としての記憶によるものが主であったことから、その対象種としての同定や生息状況は、他との関係等から類推して記入した部分がある。

イ 次の種の呼び名は、現在の言葉（標準和名）でもあり、集落によっては当時以前から使われていたものかはっきりしない面が残ったが、回答があったとおり調査票に記入をした。

鳥類の名称	呼び名
せぐろせきれい	セキレー
ほおじろ	ホージロ
かわせみ	カワセミ